

越前和紙による懐かしくも新しい試み

えちぜん わ し 越前和紙 × はっぽ HAPPO [福井県福井市]

イラストレーターとしても活動するHAPPOさんは、長い歴史と高い品質を誇る越前和紙を使った張り子を制作しています。イラストという平面の表現にとどまらず、立体造形や民藝品にも興味があったことから、地元の和紙を使って制作してみたいと、独学で張り子作りをスタート。張り子に適した越前和紙を求めて試行錯誤を重ねるなか、和紙の可能性を広げようと活動している老舗メーカー 滝製紙所とのコラボレーションにも2023年から取り組んでいます。愛らしい表情が印象的な張り子は、紙粘土で作った型に幾重にも越前和紙を重ねて貼った後、アクリル絵の具で絵付けをして完成です。玩具として古くから親しまれている張り子には、HAPPOさんの新しい挑戦が詰まっています。



●雲海のたつさん
干支の辰がモチーフ。シンプルながらも一目で自分の作品だと分かってもらえるように心がけて描いている。



●梅文だるまさん
手のひらに乗るサイズ感も可愛い



●めで鯛サン
少しとぼけた表情が愛らしい縁起物の鯛

【HAPPO】
happo0714@gmail.com



●サンカクだるまさん
滝製紙所の和紙の色味や風合いを活かして制作



●招き猫さん
招き猫は作品の中で一番人気のあるモチーフ

HAPPO (イラストレーター、張り子造形作家)

福井県生まれ。幼い頃から絵を描くのが好きだったため、高校は工学系に進学し、デッサンやデザイン、染色など幅広く美術を学ぶ。福井を拠点にイラストレーターとして活動。張り子の魅力を知り、越前和紙を使った張り子作り挑戦している。シンプルさのなかにも、オリジナルな作品世界を構築する。

【展示会情報】はっぽの張り子展「色イロだるま、冬の大打進」

日程：2024年1月21日(日)まで 木・金定休 ※12/28～31は休業

場所：café micnic (ミックニック) 福井県三国町安島13-62-7

作家の
Instagramは
こちらから

